

会議・打合せ等記録

市長	副市長	部長	次長	課長等	補佐	係長等	担当

報告日：令和5年2月13日

名称	令和4年度 第1回保健福祉審議会
日時	令和5年1月31日（火） 午後2時00分～午後3時21分
場所	鹿沼市北押原コミュニティセンター 1・2・3会議室
出席者	別紙のとおり 傍聴者0人
内容及び結果等	1 開会
	2 あいさつ（亀山部長）
	3 委員紹介
	4 会長及び副会長の選出について
	5 会長あいさつ（鈴木会長）
	6 議事
	（1）保健福祉部主要事業進捗状況及びこども未来部主要事業進捗状況について
	■別紙資料1と資料2により各課長説明し、その後質疑応答。
	星野委員： 居宅介護予防サービス給付費について質問したい。予算を下回るということだが、利用者が減少したためか、施設利用が増えたためか、それともコロナの影響か？
	介護保険課長： 明確な数字は分かっていないが、予算についてはコロナが解消したことを前提としたものとなっており、今回はコロナの影響による利用控えと考えられる。
	星野委員： 医療費について 出産育児一時金が50万円に引き上げられるが、医療機関がそれに合わせて値上げをしていると聞いた。子供の数が少なくなり、出産に係る費用も高くなっている。国県補助を上げて医療費も上がったなら市民にメリットがない。
	保険年金課長： 医療費適正化、出産費用の平均値が47万円に対して50万円の出産育児一時金となっている。政府でも内訳の明確化を名言しており、出産費用の引き上げについては政府の動向を見ていく
	会長： 市で子どもをたくさん産めるような施策の検討をしてほしい。
	星野委員： 資料1 P14 がん検診受診率について 受診率が決して高くはないがどうか。受診者を増やす工夫などあれば。
	健康課長： 資料の数字は 11月現在のものであり、年度末にかけて伸びてゆく。受診率はコロナのせいを受診控えがある。再勧奨個別通知を出して受診を促している。
星野委員： P15 ワクチン接種率について 接種率が3回目から4回目が減っているが、地域の医療機関での接種が増えているのか、もしくは接種を希望しない市民が多いのか	
健康課長： 特にお子さんは各医療機関で接種することが多い。3～4回目についてはお子さんが対象になって間もないので、これから伸びてくると思われる。オミクロン株対応ワクチンを接種すると終わりになっているのでばらつきがみられる。	
星野委員： かかりつけ医での接種は一カ月待つが、なごみ館はすぐ接種可能なのでアピールしてほしい。	
星野委員： 資料2 P1 こどもの遊び場について 市内で花木センターにしかない。他にも施設を作る予定はあるのか？千手山公園なども良い。	

子育て支援課長：今のところ、屋内施設の新設予定はない。都市建設部などと協力しながら公園遊具の修繕や変更などで対応している。
星野委員：P 3 待機児童はどれくらいいるのか。近場で子どもを預けられる環境を整備してほしい。
保育課長：令和元年から待機児童は 0 人であるが、希望の園に入ることは難しい場合もある。保護者の意見を取り入れながら施設整備を続けていく。
鈴木（敏）委員：生活扶助について コロナで増えているか？
厚生課長補佐：医療扶助は保険証がないので生保で 10 割負担、本人負担は 0 割である。医療機関の受診控えの傾向がある。
鈴木（敏）委員：低所得者に対する 5 万円の手当などもあるが。
厚生課長補佐：生活保護世帯数は県内では現状維持である。生活保護世帯が増えていないのは、コロナ禍でも 20 万円の生活福祉資金の特例貸付が充実していたため、まずはそちらで受け止めてもらっている状況と考えている。この制度が終了後に生活保護の申請が増えていく可能性はあると考えている。
横尾委員：P 11 特定健診等、人間ドッグの受診率について増減の傾向を知りたい。
保険年金課長：令和 3 年の特定健診受診者数は 5176 件、人間ドッグは 405 件。令和 2 年は特定健診が 4931 件、人間ドッグは 365 件。全体的には若干増えている。特定健診については、受診件数が増えると国の交付金も増えるので、年度途中においても受診勧奨通知を何回か出して件数を増やす方向で進めている。人間ドッグも今後勧奨する方向であるので、件数は伸びる予定。
横尾委員：P 14 健康マイレージについて 参加者数が 96 名であるが最終的にはどのくらいになりそうか。それは多いのかどうか。
健康課長：昨年度応募者は 272 人であった。今年度は 330 人分の景品を用意している。この事業は令和元年から実施し、参加者は年々増加し現在は 200 名から申し込みをいただいている。今後も 100 人くらい増える予定である。
横尾委員：P 15 本市のコロナウイルスワクチン接種状況について
健康課長：県内並みの水準で進捗している。
渡辺委員：コロナから社会を、生活をどう戻していくかということになるかと思う。コロナ禍で「動かない」「人と会わない」「つい食べ過ぎる」ことが肥満、ロコモ、フレイル、メンタルヘルスに影響が出ている(自殺、認知症など)。また、健診の受診控えにより、命にかかわらない段階で病気が見つかることが減ってきている。 過度の飲酒の害や逆に高齢者の低栄養、今後こういった健康問題が出てくると予想される。市の事業、委員の皆様の団体の気づきや活動にかかっていると強く感じた。連携して取り組んでいけたらと考えている。
保健福祉部長：市としてもコロナ対策をチェンジして with コロナ、アフターコロナ対策にシフトしていく。コロナ禍前に戻ることは難しいが関係機関の皆様と連携しながら、またアドバイスをいただきながら施策展開したいと思う。

	<p>会長：他に質問はあるか？今年度の保健福祉部及び子ども未来部の主要事業進捗状況についてはこのまま進めるということによろしいか？（委員：異議なし）質問を踏まえながら、このまま進めていっていただくということで執行部をお願いしたい。ここで議事を終了し議長の職を降ろさせて頂く。</p>
	7 その他
	<p>事務局：その他のことで委員から意見はあるか？</p> <p>（意見なし）</p>
	8 閉会
配布資料	<p>次第、名簿、資料 1 令和4年度保健福祉部主要事業進捗状況、資料 2 令和4年度子ども未来部主要事業進捗状況、</p>
次回予定	なし
記録者	齋藤（厚生課地域福祉係）
<p>鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況</p> <p style="text-align: center;">（該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要）</p>	
公 開	・ 非公開